



令和6年9月10日

学校だより

富山市立上滝中学校 NO. 5

「同じ価値を共有」

教務主任 水間 英文

富山駅を探検しました。新幹線の発車時刻表を見ると、東京方面は、朝と夕方以降1時間あたり「かがやき」「はくたか」の2本体制で、昼間は「はくたか」のみの運行。3分間隔で走る東海道新幹線と比べれば少ないものの、開業前と比べ3倍の輸送力になった北陸新幹線は全車満席の日もあり、敦賀開業後もその実力を発揮しています。

まわれ右をして、市内電車の乗り場。南富山方面と富山大学前方面は8分間隔、環状線と岩瀬浜行き富山港線が15分間隔で運行しています。大都市圏と同じような高頻度運行で、待たずに乗ることができることから市民の足として利用されています。おしゃれな超低床電車が走り始めて随分経ちましたが、県都富山のイメージリーダーとして活躍しているのは周知の事実です。

少し足を伸ばして、電鉄富山駅。現在、高架駅に生まれ変わるための工事が進捗中。はるか昔、毎時30分に宇奈月温泉行き特急が頻発していましたが、現在は普通列車主体の運行。学校の前を走る上滝線も電鉄富山駅が発着駅です。

ちなみに、日本の最北端の街、稚内(わっかない)駅を発着する本数は、なんと1日あたり7本。旭川、札幌方面の特急3本と、普通列車4本のみ。乗り遅れたら悲劇です。人が乗らないから走らないといえはそれまでですが、少ない本数では、移動手段は自動車に頼らざるを得ません。

全国各地の鉄道を見ると、地域や必要性に応じて様々な姿が見えます。超高速、高頻度で大量輸送に徹して国内を支える新幹線や、1日数本しか走らないローカル線。通勤・通学輸送に、観光客向けの豪華列車まで、例を挙げればきりがありません。しかし、目的は異なれど、走るという価値は同じです。

上滝中学校では、10月に行われる富山県中学駅伝競走大会に向けて練習を積み重ねています。まず人が集まらなければ、駅伝競走は成立しません。



夏休み期間中に大勢の生徒が練習に参加し、雰囲気を高めました。練習の過程において、走力は違えど、自らの走りを考えて挑戦したことから学ぶことが多かったと思われます。大会当日、競技を終えるまで心の中の葛藤は相当なものです。選手を支えるチームサポートの存在で救われます。



同じ空間、同じ時間を過ごしてきたこと、すなわち、同じ価値を共有することで、勇気がわき、勝負に挑む力につながります。



1学年 「自分たちにできること」



総合的な学習の時間にSDGsについて考え、レポートにまとめて発表しました。(一部紹介)

誰もが学校に行き授業を受けるためにはどうしたらよいだろうか

お金がなく学校が建てられないところもあるから、コンビニやどこかにある募金箱に募金したり、こうやって調べたことを色々な人に教えたりする。例えば、世界にいる全員が一人1円募金したとしたら82億円も貯めることができる。

急激な気候変動による災害をなくすにはどうすればよいのか

自分たちにもできることもある。例えば節電を心がけるようにしたり、徒歩や自転車、公共交通手段で移動したりすることで二酸化炭素の排出を抑えられて、気候変動対策に繋がる。



戦争や差別をなくすためにはどうしたらよいだろうか

少しでも募金をしたり、いろんな問題に目を向けたりする。一人ひとりが、どんな状況になっているか知っただけでも、少しは変わってくると思う。

海にゴミが無くなるにはどうしたらよいだろうか

エコバックやマイボトルを生活に取り入れる。海を守る活動に参加する。

電気を効率的に使うためにどうしたらよいか

いままでエアコンを使うとき、扇風機を回していなかったり、電気をつけたままにしていたりしていたから、これから節電できるように頑張りたいと思う。

トイレ問題はどうしたら解決するのだろうか

こういった男女差別をなくすには、男性、女性で分けるのではなく、一人の人として見るべきだと思う。一方で、トイレやお風呂などの場所では男性・女性という区別をちゃんとつけて、みんなが行動するとみんなが幸せに過ごせると思った。

二酸化炭素の排出量を減らすにはどうしたらよいだろうか

余裕があるときは自家用車ではなく鉄道などできるだけ二酸化炭素排出量が少ないものを使う。リサイクルできるものを捨てるときは分別して捨てる。

人口の半数が都市部に居住していることで、人口比率が高まっているのがなぜ問題になっているのだろうか

地域活動に参加したり清掃活動や地域のお祭りなどのボランティアを行ったりすることで地域活性化に繋がる。住みやすい地域にすることでそこを離れようとしなくなり、過疎化の抑制になるだけではなく、引越先としての注目が集まる。自分たちの手で住みやすい街を作っていく。



🔧🔧🔧 2 学年 学校の『顔』を目指して 🔧🔧🔧

2学期が始まって約2週間、あっという間に忙しく活気溢れる日常生活に戻り、学習に部活動に励んでいます。

さて、3年生から生徒会を引き継ぐ時期が近付いてきました。2学期は、一人一人が自分にできることを100%頑張り、全員が心と力を合わせて学校の『顔』となることが求められます。

先週、それぞれの学級がPA（プロジェクト・アドベンチャー）を体験しました。出された課題をなんとかクリアしようと、全員で意見を出し合ったり、何度もやってみたり、そして何よりも全員が楽しく取り組んでいました。1年次にもPAを体験しましたが、昨

年からの大きな成長を感じることができました。

また、今週は



「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」の報告会を1、2年生合同で行いました。5つのクラスに分かれ、2年生は体験したことや学んだこと、1年生へのアドバイス等をスライドを用いて発表しました。スライドの内容を自分たちで考えたり、また、司会進行から質疑応答まで生徒が報告会を運営したりして、自信をつけるよい機会になったと感じます。

2学期は、生後会活動のみならず、合唱コンクールや校外学習等の行事もあります。それぞれの活動において48人の力を結集させ、自信と笑顔があふれる学校の『顔』になってくれることを期待しています。



3 学年 2 学期への展望



2 学期のスタートにあたり、頑張りたいことを書きました。一部を紹介します。

頑張りたいことは、合唱コンクール実行委員です。僕は、学級の会長などの役職をしていますが、合唱コンクールの実行委員は初めてのことで少し不安があります。けれど、しっかり3年2組のみんなを引っ張り、1組に勝てるように努力していきたいと思います。

苦手な国語に力をいれ、全教科3点以上上げ、どこの高校へも進路選択できるように頑張っていきます。また、修学旅行や合唱コンクールなどの行事もあるので、ケガや病気にならないように、健康的な生活もしていきたいです。

2 学期に頑張りたいことは合唱コンクールです。今回は伴奏者を務めることになりました。私は、去年伴奏をしたとき、クラスの皆にたくさん迷惑をかけてしまいました。今年は、中学校生活最後の合唱コンクールです。曲のよさやみんなの力強くきれいな歌声が際立つような演奏をできるように、毎日の積み重ねを大切に、確実に弾けるよう努力していきたいです。



2 学期頑張りたいことは勉強です。3年生の2学期は大事な時期だからです。毎日テキストを提出し、2時間は勉強を頑張りたいです。3年生は、中間考査と期末考査の他に、1か月に一回実力テストがあるので、テストで平均点を3点上げられるように、家で復習をしっかりと行い、苦手な教科や単元をなくしたいです。

2 学期には10月1～3日にずっと楽しみにしていた修学旅行があります。私は副班長だけれど、まとめてお金を払ったり、班長を支えたりと、大切な役割があるので役に立てるように頑張りたいです。11月の初めには合唱コンクールがあるので、パートリーダーとして最優秀賞を取れるように全力で勝ちにいきます。



2つ目は駅伝です。本戦に出場か、友好レースか分からないけれど、最後まで同じペースで走れるように頑張りたいです。

学校生活や各行事等の様子は、こちらからご覧ください！
学校全体や各学年に関する行事予定も随時更新しております。

